

ぎふ技術革新センター運営協議会のご案内

ぎふ技術革新センター運営協議会

ぎふ技術革新センター運営協議会のご案内

岐阜県は、世界的なモノづくりの拠点である東海地方の一翼を担い、輸送用機器、工作機械、電気機器をはじめとする製造業が本県経済を牽引してきましたが、平成20年から続く経済不況の影響を受け、厳しい状況にあります。

これらの分野の企業は、モノづくりに関する優れた技術・ノウハウを有しており、本県産業が国際競争に打ち勝ち、今後も持続した発展を続けていくためには、将来的な業種の盛衰に対応できる強靱な地域経済の確立、すなわち「航空機」、「医療機器」、「環境調和型製品」などの成長分野へ地域産業が展開し、産業構造を高度化・多様化することが不可欠です。岐阜県では、最上位計画である

「岐阜県長期構想」において、これらの成長分野を中心としたモノづくり産業の振興を最重要政策に掲げているほか、地域産業界ならびに岐阜大学をはじめとする研究機関、公設試、産業支援機関などにおいても、本分野に関する研究開発と事業化に産学官連携により取り組んでおり、新たな市場の創出に向けた強い推進力をもって、主体的な活動が力強く展開されつつあります。

この度、本地域における新たな産学官連携活動の拠点として、「ぎふ技術革新センター」が整備されました。本拠点では、近年注目を集めている「炭素繊維複合材料 CFRP など航空機・自動車向け軽量強化部材の加工・接合・組立技術」や「医療機器」、「環境調和型セラミックス」、「機械金属」を主な対象分野に、共同研究や人材育成、産学官連携推進などといった活動が展開される予定です。

こうした状況を踏まえ、産業界、大学等の研究機関、公設試、金融機関、行政などが一体となって、地域産業の技術革新による成長分野への展開、将来にわたる持続的な発展を図るため、「ぎふ技術革新センター運営協議会」を設立しました。

本協議会では、ぎふ技術革新センターにおける共同研究や人材育成、研究交流などの事業を主体となって実施することにより、地域産業の成長分野への展開、産業構造の高度化・多様化を目指します。関係各位には、本協議会の設立趣旨にご理解を賜り、是非ご入会の上、ともに活動されますことをお願い申し上げます。



ぎふ技術革新センター
運営協議会
会長 村山 滋

平成23年3月

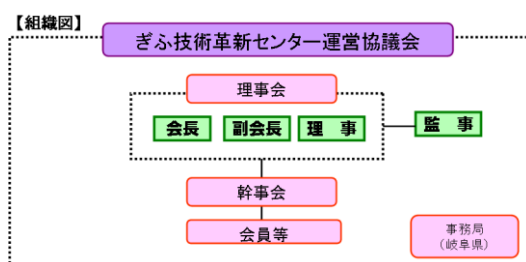
ぎふ技術革新センター運営協議会会長 村山 滋

概 要

- 名 称 ぎふ技術革新センター運営協議会
- 設立年月日 平成23年3月14日
- 協議会の目的 ぎふ技術革新センターにおける産学官連携活動の活性化を目的とし、共同研究助成を始めとする各種助成や人材育成、研究交流などの事業を主体となって実施し、ぎふ技術革新センターにおける革新的な技術開発を積極的に促進し、ひいては地域産業の発展に貢献する。
- 事業の内容 (1) 技術開発の推進と技術の向上を図るための共同研究助成事業
(2) ぎふ技術革新センターの積極的な活用を図るための機器利用助成事業
(3) 産学官による積極的な研究交流事業
(4) その他、地域産学官連携ならびに地域産業振興を促進するために必要な事業

組 織

- 役 員 : 会長 (1名)、副会長 (2名)、
理事 (10名程度)、監事 (2名)
※役員は、特別会員及び正会員の内から互選
- 会員等 : 特別会員、正会員、賛助会員、準会員、オブザーバー
- 事務局 : 岐阜県、岐阜県研究開発財団



主な実施事業

<基本方針>

地域企業の航空機・輸送機器用軽量強化部材や環境調和型製品、高度医療機器、機械金属等の成長分野への展開を図り、産業構造の多様化・高度化を目指す地域産学官共同研究拠点「ぎふ技術革新センター」において、産学官連携活動を活性化するための各種事業を実施する。

【共同研究助成事業】

- ・大型プロジェクト獲得に向けた「芽出し研究」に対する助成を実施

【拠点利用助成事業】

- ・35歳以下の若手研究者が拠点設備を利用するにあたり、経費の助成を実施

【研究交流事業】

- ・拠点で実施する各種セミナー、研究会等を通じ、情報の交流・人的ネットワークの形成を支援

平成 年 月 日

ぎふ技術革新センター運営協議会入会申込書

貴会に 正会員・賛助会員・準会員 として入会したいので、申し込みます。

1. 事業所名

2. 業種（産業中分類区分）

3. 主要製品

4. 事業所所在地

〒

5. 代表者 職・氏名

印

6. 申込口数（準会員は記入不要）

口

7. 協議会連絡担当者

氏名

役職

TEL.

E-mail

FAX
